

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

平成21年6月16日安全対策調査会
資料8-1-5

平成21年6月3日タミフル臨床WG
資料6-1-5

No.	性別・年齢	性別	年齢	一日用量	処方薬	副作用	経過	経過の概要	経過	経過
1	B-07023214	女性	3日	20 mg		痙攣	回復	母親が出産直前の5日間、ザナミビル水和物を服用。 女児を出産後、日齢3日で退院したが、痙攣が起こるので日齢6日目、入院。 フェノバルビタールを投与された。その後、回復した。	異常以外-1	08/04/01以降追加報告
2	B-08026002	男性	5歳	投与量不明		譫妄 異常行動	不明 不明	ザナミビル水和物2回吸入後にうわごとを言ったり、手足をばたつかせた。		08/04/01以降新規報告
3	B-08026099	女性	5歳	投与量不明		泣き 多汗症 熱性痙攣	不明 不明 不明	ザナミビル水和物2回目吸入2時間後、泣き叫び、目は焦点が合わず、白目のような状態、体をそり返す体勢となり、大量発汗。病院受診し、「熱性けいれんだろう」と診断された。 翌日、担当医に、インフルエンザの熱でできた症状だろうと言われた。その後は何もなかった。		08/04/01以降新規報告
4	B-08027854	男性	5歳	20 mg	カルボシステイン ヒペンズ酸チペピジン 塩酸プロカテロール アジスロマイシン水和物	幻覚	軽快	体温37.7度、咳が見られ、アジスロマイシン水和物等を服用開始。翌日、体温39.2度、頭痛、気持ち悪いとの症状あり、再受診し、A型インフルエンザと診断され、アジスロマイシン水和物を中止し、ザナミビル水和物処方。 服用1日目、朝、本剤吸入後、就寝。本剤吸入約3時間後、体温40度、ふとんを拭く動作を繰り返し、「いかにいい」と言っていた。 服用5日目、終了。		08/04/01以降新規報告
5	B-08029430	男性	5歳	20 mg		異常行動	回復	インフルエンザにてザナミビル水和物処方。同日、服用開始。 服用3日目、寝ている時に母親の首をしめる。5分程続くが、元に戻る。 服用4日目、同様の行動を取ったので医師に連絡。		08/04/01以降新規報告
6	B-08030552	女性	5歳	20 mg		幻覚	不明	ザナミビル水和物5日分処方。服用開始後、。幻覚あり(1回のみ)。本剤中止せず、5日間服用。		08/04/01以降新規報告
7	B-07004632	女性	6歳	20mg	ヒペンズ酸チペピジン 塩酸アンプロキソール アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断し、ザナミビル水和物処方。翌日夜間、臥床していて突然笑い出し、約5分後に落ち着いた。	異常以外-2	
8	B-08026098	女性	6歳	投与量不明		異常行動 幻覚	不明 不明	目つきがふだんと違い、寝ているとき突然目を開いて、クスクス笑い出したり、泣いたりし、幻覚あり。抗生剤は、クラリスロマイシン服用中。対処は別に何もせず、少し話しかけあやした。		08/04/01以降新規報告
9	B-08026175	男性	6歳	20 mg	アセトアミノフェン	譫妄	回復	ザナミビル水和物服用1日目、本剤2回吸入後、夕方、時々「怖い、怖い」と数回うわ言を言う。以後はなし。 服用5日目、インフルエンザ改善したため、本剤終了。		08/04/01以降新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	患者番号	性別	年齢	用量	投与回数	副作用	経過	経過	経過	経過
10	B-08026809	男性	6歳	20 mg		異常行動	回復	発熱があり受診。インフルエンザAと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼過ぎ、就寝前、本剤吸入。体温38℃。就寝後、目が覚めると布団の縫い目をなぞる、イスをひいて動かすといった行動が発現。また、聞き取れない言葉を言う。異常行動は約1時間継続し、様子を観察。以降の本剤中止。 服用開始から2日目、体温38℃。救急外来受診。来院時は意識清明。同日、深夜、目が覚めると、言動がいつもと違う状態。 服用開始から3日目、救急外来受診。意識清明。以後は発熱なく、異常行動もなし。		08/04/01以降 新規報告
11	B-08026968	女性	6歳	10 mg		幻覚	不明	インフルエンザのため、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。本剤1回目吸入約2時間後、および5時間後に幻覚発現。指を指して「大きい大きい……」と言って、見えないのものが見れたり、沢山食べ物が並んでいるように見えて、「沢山食べられない」と言う。食べる食べろと言われるようで、恐れおののいているようであった。その後はずっと熟睡。 服用開始から2日目、平熱に戻った。		08/04/01以降 新規報告
12	B-08029982	男性	6歳	10 mg		意識レベル の低下	軽快	受診し、インフルエンザ検査行っても陰性。しかし、40℃の発熱あり、可能性高いため、ザナミビル水和物処方。同日服用開始。昼、本剤吸入約2時間半後、嘔吐、顔面チアノーゼ発現。眼球は上をみつめるようであり、手足はちぢこまったようであった。意識レベルは痛み刺激にわずかに反応あるのみで、呼びかけには応じなかった。傾眠傾向続いた。頭部CTで異常なく、血液検査で炎症所見が軽度上昇。髄液検査異常なく、脳波では高振幅徐波あり。入院。抗生物質投与にて解熱。 服用開始から2日目、意識清明。入院日の記憶なし。本剤終了。 服用開始から4日目、頭部MRIにて異常所見なし。 服用開始から5日目、再度脳波検査行っても、異常所見なし。		08/04/01以降 新規報告
13	B-06026797	男性	7歳	20 mg		異常行動	回復	ザナミビル水和物投与開始。使用5時間後、異常言動発現し、5分程度で回復。	異常以外-4	
14	B-07000723	男性	7歳	5 mg		異常行動	回復	ザナミビル水和物を吸入1時間後、視線合わず「ドアを開いてミックスしろ」など異常言動出現。投与4時間後、同様の症状あり、入院。翌朝、症状消失し、意識回復。	異常以外-5	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	例番号	性別	年齢	投与量	処方薬	症状	経過	経過の概要	経過の経過	経過の経過
15	B-08026272	女性	7歳	投与量不明		譫妄 異常行動 刺激無反応	不明 不明 不明	本剤1回目吸入がうまくできず、2回目はまったくできなかった。 その後、約5時間、1時間おきくらいにうわごとや急に笑い出し、こないでやめると言っていた。目を開いているが声をかけても反応なし。		08/04/01以降 新規報告
16	B-08028846	男性	7歳	20 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンブロキソール ツロブテロール	幻覚 幻視	回復 回復	ザナミビル水和物は受診日から2日間服用。 受診後、幻覚・幻視が発現したが、2日後、解熱し、症状消失。		08/04/01以降 新規報告
17	B-08029312	男性	7歳	10 mg	アセトアミノフェン フェンゾ酸クロベラスチン カルボシステイン クラリスロマイシン ツロブテロール	幻視	回復	ザナミビル水和物服用1日前、気管支炎の診断にて、抗生物質等処方。 同日、夜、発熱あり、アセトアミノフェン服用。 翌日、昼、ザナミビル水和物及びアセトアミノフェン服用。体温37℃。発汗して解熱傾向となり、入眠。 睡眠時、異常行動が発現(数分間継続)。呼びかけると反応はあるが、天井を見上げたり、凝視したり、泣き出しそうな顔つきをする等の行動であった。特に何もせず様子観察。本剤は1回吸入のみで終了。		08/04/01以降 新規報告
18	B-08029579	男性	7歳	5 mg		痙攣 譫妄	軽快 軽快	ザナミビル水和物服用1日目、夜、体温39.0℃。本剤吸入5分後、口からアワを吹いてビクビクとした。その後、意味不明の言動が発現。約100分間継続。自宅では特に対応はなし。事象発現約30分後、来院。来院時、意識清明であり、検査のため入院。本剤中止。 服用開始から2日目、脳波所見:高振幅徐波パターン等あり。		08/04/01以降 新規報告
19	B-08030077	男性	7歳	20 mg	アセトアミノフェン	幻覚	回復	ザナミビル水和物服用1日目、朝、夕、本剤吸入。 服用2日目、朝、本剤吸入後、携帯ゲーム機にて、ゲームをしていたところ、その画面にすいこまれる感じが発現。昼過ぎ、テレビの画面に吸いこまれる感じが発現。 服用3日目、本剤吸入後、テレビの画面に吸いこまれる感じが発現。本剤終了。 服用開始から4日目、異常なし。		08/04/01以降 新規報告
20	B-08030943	男性	7歳	20 mg	非ピリン系感冒剤(5) 塩酸エピナスチン クラリスロマイシン カルボシステイン アセトアミノフェン	譫妄	回復	37.6℃の発熱あり、受診。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、体温40℃。本剤2回目吸入約1時間後、睡眠していたところ、急に起き上がって天井を指さして意味不明の言葉を発し、両手を広げ母親を迎え入れる仕草をする。5分間位持続。その直後、体硬直。 服用5日目、インフルエンザ改善により本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
21	B-06026558	女性	8歳	20 mg		異常行動	回復	B型インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物を処方。服用1時間半後、目を覚まし、急に笑い、左手を握りしめ、腕が伸び切った肘が曲がらないような状態であった。母が尋ねても返答せず。目は焦点が定まっていなかった。	異常以外-6	
22	B-06026796	男性	8歳	10 mg	リン酸オセルタミビル	異常行動	回復	ザナミビル水和物投与開始。使用3時間後、異常言動発現し、5分程度で回復。	異常以外-7	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	薬剤名	性別	年齢	投与量	副作用	経過	対応	経過	経過
23	B-07000630	女性	8歳	10 mg		血管迷走神経性失神	回復	B型インフルエンザと診断し、ザナミビル水和物投与練習のため、デモンストレーションキットを2プリスト吸入した直後、顔色不良となり、眼球上転させながら、後方へ転倒した。10-15分で回復。	異常以外-8
24	B-07024061	女性	8歳	20 mg		譫妄	回復	服薬1日目、A型インフルエンザと診断、ザナミビル水和物を処方。昼・夕方、本剤吸入。2回目吸入1時間後、家族と会話が成立せず、的外れな言動を認める様になった。夜、受診。興奮し幻覚も認められて、せん妄状態と診断。体温39.6度 服薬2日目朝、自然に覚醒し、少しボーっとした感じはあるもののせん妄消失し、受け答えもきちんとできる様に回復した。 服薬6日目、インフルエンザ改善によりザナミビル水和物投与終了。	異常以外-9
25	B-08026177	男性	8歳	10 mg		意識変容状態	回復	インフルエンザ診断キットにてB型に陽性反応にて、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼頃、体温39.4℃。本剤初回吸入。約1時間半後、一点をみつめ開眼したまま、焦点が合わない。片手をタクトをふるような行動を繰り返す。持続時間は15分位であり、救急車にて入院。頭CTは異常なし。痙攣(熱性痙攣)なし。 翌日、退院。	08/04/01以降新規報告
26	B-08027528	男性	8歳	20 mg	フマル酸ケチフェン 臭化水素酸デキストロトルファン カルボシステイン	幻聴 幻覚	回復 回復	簡易検査でA型インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。 服用2日目、早朝、怖い夢の幻覚と幻聴を訴えて起き、「部屋を出て行く」と訴えた。しばらくしてから再度就寝。朝、本剤吸入。午後、幻聴発現。父親から症状を聴取し、速やかに本剤中止を指示。その後、同様の症状の発現なし。 服用開始から4日目、午前中、体温36.5℃。会話に異常は認められず、特に行動にも異常は認めていない。	08/04/01以降新規報告
27	B-08027855	不明	8歳	投与量不明		譫妄	不明	ザナミビル水和物初回吸入3時間後、うわごとを言った。本剤吸入2回目数時間後、うわごとを言った。熱は下がった。	08/04/01以降新規報告
28	B-08027857	男性	8歳	10 mg		幻覚	回復	38℃の発熱、咳にて来院。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。本剤吸入約15分後、「人が見える」と幻覚が発現。本剤中止。同日症状は回復。	08/04/01以降新規報告
29	B-08027951	女性	8歳	10 mg	UNKNOWNDRUG	異常行動 意識変容状態	回復 回復	ザナミビル水和物服用1日前、体温39℃。 翌日、受診し、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。昼、本剤吸入約1時間後、目を開いて大声で叫び、尿失禁し、救急搬送。病院到着時、体温39.4℃。メクロブラミド等にて治療開始し、症状改善。	08/04/01以降新規報告
30	B-08027959	男性	8歳	投与量不明		幻視	不明	体温39度。翌日、屋よりザナミビル水和物吸入。同日夜、「数字が浮かんで見える」等の発言をしだした。	08/04/01以降新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	例番号	性別	年齢	一日用量	処方薬	症状	経過	経過	経過	経過
31	B-08028091	男性	8歳	20 mg	塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チベジン	異常行動 痙攣 意識レベル の低下	回復 回復 回復	体温40度、咽頭痛、咳あり。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物等処方。服用1日目、夕方、本剤吸入後に痙攣様のふるえが発現(十数秒間)。その際、意識が朦朧としていた。体温約40度。服用2日目、朝、本剤吸入後、「カーテンの向こうに人がいる」といったり、祖母が誰だか分からない状態で、呼びかけにも反応せず指を空に示したりした(十数秒間)。微熱あり。		08/04/01以降 新規報告
32	B-08028510	女性	8歳	投与量不明		意識消失 中期不眠症 激越	不明 不明 不明	夜、発熱してザナミビル水和物吸入開始した。服用2日目、インフルエンザB型と診断。トイレにたつときにいつもと違う様子で気を失った。服用3日目、平熱。同日は、1回のみ吸入。また、発現日不明であるが、熱が下がってから夜中に目が覚め、興奮気味であるとのこと。		08/04/01以降 新規報告
33	B-08030075	女性	8歳	20 mg	セフジトレニボキシル フマル酸クレマスチン ヒベンズ酸チベジン	幻覚	回復	ザナミビル水和物服用1日前、38.5℃の発熱あり、受診。インフルエンザ検査陰性にて、抗生剤等を処方。翌日、38.9℃と発熱続き、再受診。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。本剤吸入。夜、幻覚症状(変なことを話す)が発現し、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
34	B-08030669	男性	8歳	投与量不明		譫妄	不明	ザナミビル水和物服用中、夜、うわごとが発現。		08/04/01以降 新規報告
35	B-08031331	女性	8歳	20 mg	硫酸サルブタモール 塩酸プロムヘキシシ セラペブターゼ	幻聴 眼振 振戦 視力低下(+) 恐怖	回復 回復 回復 回復 回復	体温38.6℃あり。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼、本剤吸入約10分後、目が横に揺れる、目が回る、横に寝かせても目が揺れる、体を起こすと体が揺れる、といった症状が発現。症状発現約10分後、就寝し、目が覚めると正常だった。夜、本剤吸入直後に就寝。吸入約1時間後、ものが小さく見える、こわい、(実際は話していないのに)父が大声で話しているうさぎと言う。目の動きなし。興奮してしゃべっている様子。体温38℃。症状発現から約10分後、就寝。異常行動発現時の記憶はいずれもあり。服用2日目、朝、体温36.8℃。異常なし。服用6日後、インフルエンザ改善により本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
36	B-08032241	女性	8歳	20 mg	ドンペリドン セフジトレニボキシル ラクトミン	異常行動 譫妄 泣き	回復 回復 回復	39℃の発熱にて、受診。同日、ザナミビル水和物服用開始。昼、本剤初回吸入約1時間後(入眠から数十分経過後)、突然覚醒して開眼はしているが、視線が合わず、意味のわからないことを言う、視線が合わないまま泣く(5分間)といった異常行動が発現。事象発現20分後、救急車到着するも、意識がもどり母や救急隊の質問に答えた。服用3日目、朝、体温36℃と解熱。本剤終了。服用開始から4日目、5日目、6日目、7日目、就寝約2時間後、突然上半身起こしてうわ言を言ってから寝るといった行動(5分位)が連日発現。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

症例No.	性別	年齢	投与量	投与薬	症状	経過	経過	経過	経過	経過
37	B-06001696	女性	9歳	投与量不明		浮動性めまい	軽快	インフルエンザ迅速検査陰性であったが流行があったため、インフルエンザとしてザナミビル水和物投与。投与開始11日目、歩行時のふらつき、嘔吐出現。投与開始12日目、救急外来受診。頭部CT施行し異常なし。投与開始13日目、歩行時のふらつき変りなし。頭部MRI施行。眼振を認めたため、耳性めまいの診断で入院。右注視眼振を認め、聴力は正常であったが、経過から前庭神経炎を疑い、点滴加療により徐々に症状改善。	異常以外-11	
38	B-06026675	男性	9歳	20 mg	アセトアミノフェン	強直性痙攣 異常行動 頭痛	軽快 軽快 軽快	B型インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物投与開始。使用1時間半後、アセトアミノフェン服用。その30分後、突然両前腕の強直性伸屈と共に意味不明な言葉を発した。両眼は開眼し、視点は定まらず。一時軽快するも、再度短時間の同様のエピソードを生じる。その後は、薬剤を中止し、再発なし。	異常以外-12	
39	B-07000536	男性	9歳	20 mg	塩酸ツロブテロール カルボシステイン 塩酸アンブロキシール	低体温 意識レベルの低下	回復 回復	B型インフルエンザの診断。軽度喘鳴あり。投与1日目、2日目の夜、体温が約35度まで低下し、意識混濁状態となった。投与3日目の夕、投与中止し、夜より低体温、意識状態の悪化は見られず。	異常以外-13	
40	B-07023276	男性	9歳	20 mg		譫妄 筋骨格硬直 ジスキネジー 眼瞼痙攣	回復 回復 回復 回復	服薬1日目、ザナミビル水和物10mg吸入。服薬約4時間後、了解不能な日本語の羅列。眼の焦点が定まらない。排尿直後に排尿したことを忘れている。3-5分で正気に戻る。大量に発汗。夕方、体温39.4度。早口で数を数える。途中からろれつが回らなくなる。手を出して大きくふる動作。焦点は合わない。母がトイレに連れて行く。便座を指差してぐるぐる回す。便座に座って母に「あげるよ」と言う。3-5分で正気に戻る。布団に戻り「あーっ、暑かった」。晩、腹臥位で寝ていて左手がもぞもぞ動く。眼瞼がピクピクする。覚醒して「母ちゃん元気、母ちゃん元気」とすごい勢いで繰り返す。背中をこすると「やだー」と叫ぶ。目を見開き、手に力が入ってこわばる。5分程して「大丈夫、平気、大丈夫、平気」と棒読みで繰り返す。会話をすることが合わない。「先生すごいな」。15分後に正気に戻る。母を認識し、入眠する。入眠して約1時間半後、日本語だが意味不明なことを言う。体に力が入っている。2-3分で救急車要請。体温38.5度。服薬2日目、回復。	異常以外-14	
41	B-07023278	男性	9歳	投与量不明		異常行動	不明	ザナミビル水和物1回しか吸入していないが、わーっと言って起き上がったり、暴れたりしている。	異常以外-15	
42	B-07024762	男性	9歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動 悪夢	回復 回復	服薬1日目、ザナミビル水和物吸入。夜間、床に頭を打ちつけた。服薬2日目、異常行動はその後、発現なし。	異常以外-16	
43	B-08019833	男性	9歳	20 mg	アセトアミノフェン ヒベンズ酸チベピジン 塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン	幻覚	回復	インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼頃、本剤1回目吸入。約2時間半後、「部屋が大きいよー」泣き出し、寝ていたのが起き出してしまったので、しばらく親が横に添い寝する。副作用発現時、体温は39.5℃。アセトアミノフェン服用。服用5日後、インフルエンザ改善により、本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
44	B-08025748	男性	9歳	投与量不明		譫妄	不明	ザナミビル水和物吸入。約4時間後、うわごと、訳の分からないことを言った。1時間ごとにうとうとうわごとを言っていた。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	識別番号	性別	年齢	一日用量	服用薬	副作用	経過	経過の概要	経過の経過	経過
45	B-08026001	男性	9歳	投与量不明		幻覚	不明	幻覚らしきものがあった。(ザナミビル水和物を使用する前にもあったので、おそらくインフルエンザの高熱の為に起きた症状だと思われる。)		08/04/01以降 新規報告
46	B-08027292	女性	9歳	投与量不明	フマル酸クレマスチン ヒベンズ酸チベピジン 塩酸アンプロキソール ツロブテロール	幻覚 異常行動 浮動性めまい 悪心	不明 不明 不明 不明	ザナミビル水和物処方され、同日、服用開始。昼、本剤1回目吸入後、特に異常なし。夜、2回目吸入約20後、おびえだし、めまい、はきけ、高いところから落ちていく感じがする、テレビのはじや天井に落ちていく先が見える、テレビをぼんやりと眺めて内容を見ていない等の症状を訴える。体温39℃。 医師に相談の上、これらの症状は熱によるものと判断され、本剤の服用継続を指示される。 服用2日目、熱は37℃までさがり、その後はこのような症状は無い。 服用4日目にて本剤終了。		08/04/01以降 新規報告
47	B-08029025	男性	9歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動 痙攣 筋骨格硬直	回復 不明 不明	インフルエンザ発症にて、ザナミビル水和物処方。 服用4日目、目は開いているが焦点が合っていない、叫ぶといった症状が発現。 服用5日目、硬直、痙攣が発現。本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
48	B-08030076	男性	9歳	10 mg		意識消失	回復	37.4℃の発熱あり、受診。キットにてインフルエンザB型と診断され、ザナミビル水和物処方。午前中、本剤吸入約30分後、意識消失が発現。体温38.3℃。事象発現約20分後、救急車にて来院。事象発現約35分後、意識消失は回復。開眼するもやや不穏状態で会話不能のため、転院。脳炎の疑いのため入院し、インフルエンザ脳炎と診断される。		08/04/01以降 新規報告
49	B-08030250	女性	9歳	20 mg	塩酸フェキソフェナジン ブランルカスト水和物 ツロブテロール	意識消失	回復	キットにて、インフルエンザB型と診断。診断翌日、ザナミビル水和物服用開始。夕、本剤吸入し、トイレに行く途中に意識消失、失禁が発現。母にたたかれて意識回復。その後、小児科にかかったが、意識消失発作以外に特に有害事象なし。 服用5日目、インフルエンザ改善により、同日吸入し、以降、本剤は終了。		08/04/01以降 新規報告
50	B-08031647	男性	9歳	20 mg		幻視	回復	詳細不明		08/04/01以降 新規報告
51	B-07022683	女性	10歳	20 mg		異常行動	回復	服薬1日目、インフルエンザAと診断、ザナミビル水和物吸入。晩、母の問いかけにうまく反応できず、何か変なことが起こっていると訴える。その後当院の救急外来を受診し、入院となる。意思の疎通ができない。異常言動発現によりザナミビル水和物中止。 服薬中止1日後夜、「殺せー。ばかやろー。」と暴言を吐く。ベッドの上で飛び跳ねるなどの言動あり。 服薬3日目、通常に戻っている。同日退院。	異常以外-17	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No	薬剤名	性別	年齢	用量	成分	症状	経過	経過	経過	経過	経過
52	B-07023275	男性	10歳	20 mg	ヒベンス酸チベピジン カルボシステイン トラネキサム酸 アセトアミノフェン ツロブテロール	異常行動	軽快	前日夕方より、発熱39度。寝ていて目が覚めると自分では動かそうとしていないのに体が勝手に動く。 服薬1日目昼、ザナミビル水和物処方。夜、ザナミビル水和物吸入。寝ているときに目を覚ますが、自分の手の影を見て、「あれ見て!」、ニコニコと笑いながら「楽しみだなあ、どんな色にしようかなあ」等意味不明なことをはっきりと話す。 服薬2日目朝、ザナミビル水和物吸入。昼に寝ていると、以前と同じように体が勝手に動き少しパニックに。トイレに行くときと落ち着いた。夜、寝ていても一時間毎に怒ったようなうなり声や叫び声を出し、起き上がり、ペソをかくことも。夜中には落ち着く。 服薬3日目朝、朝なかなか起きられず、目を白目をむくようにあけるのだが、起きられず。いびきのような寝息をたて、寝てしまう。昼は、昼寝もなしのため異常なし。夜、寝ていて咳をするたびに怒ったようなうなり声や叫び声を出して、時には「いやだ!!やめてくれ!!」と言ったり、布団を蹴って暴れたりする。起き上がって座り、泣くことも。 服薬4日目夜、体温36.5度。咳をよくするが、起きたり叫ぶ事なく寝る。	異常以外-18		
53	B-07025713	男性	10歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動 幻覚	軽快 軽快	服薬1日目、インフルエンザ迅速診断でA型(+)、ザナミビル水和物処方。昼、本剤吸入。2回目の吸入後、4回意識が朦朧となり母親がわからなく、呼名に対しても反応がなかった。1分間位で母親が話しかけ意識回復したが、その時の体温は39-40度と高熱でなかなか眠れず開眼して意識がボンヤリした状態であった。夜半 体温40度。意識もうろうとなり、幻覚出現(戦争で戦っている人が見えた。母親が友人の父親に見えた)。深夜、救急病院受診。入院。頭部CT検査など異常なし。以後使用中止。	異常以外-19		
54	B-07026749	女性	10歳	20 mg	ヒベンス酸チベピジン カルボシステイン アセトアミノフェン	痙攣	回復	服薬1日目、インフルエンザのためにザナミビル水和物処方。 翌日、痙攣が発現した為に当院に搬送され入院。本剤中止。 服薬中止2日後、痙攣回復。	異常以外-20		
55	B-07028196	男性	10歳	20 mg		異常行動 精神症状	回復 回復	ザナミビル水和物服用1日目、朝、本剤1回目吸入。夜、体温38.5℃。本剤2回目吸入後、横になって寝ていたり、目を覚ましたり、を繰り返している状態。2回目吸入後約4時間後、体温39.4℃。父、母からの呼びかけに対して「僕ってだれ?」「僕の名前がわからない」という発言を繰り返す。母の「私(母親)の事がわかる?」という問いかけに対しても、「誰がいるのか分からない」と返答。同様に、父親の顔もわからない、知らないを繰り返す。手は小刻みに震えていたような感じがみられた。 2回目吸入4時間40分後、通常の意識に戻る。本人が「水が飲みたい」と主張し、水分をとり、トイレにも行き、そのあと就寝。関節の痛みのために、立ち上がったときの補助はしたものの、それ以外の動作はいつもどおり自分ひとりで済ませる。 服用2日目、朝、体温不明。昨夜の事は何もなかったように朝を向かえ、その後、異常言動はなし。本剤継続したが、問題行動などはなし。	異常以外-21	08/04/01以降 追加報告	
56	B-08026727	不明	10歳	投与量不明		譫妄	未回復	ザナミビル水和物服用1日目、昼、夜、本剤吸入。夜中、うわごと発現。 服用2日目、医師に相談し、本剤は使い続けるようにということで、本剤は中止せず。昼頃、熱は37.3℃に下がったが、まだうわごとを言う。		08/04/01以降 新規報告	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	薬剤名	性別	年齢	用量	成分名	症状	経過	経過	経過	経過
57	B-08026806	女性	10歳	20 mg	リン酸ジメモルファン カルボシステイン アセトアミノフェン	幻覚	回復	38.8度の発熱、頭痛、咽頭痛、咳、めまいがあり、受診。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。 服用2日目、本剤吸入から20～30分後、体が熱く、ふとんが重く感じ「ふとんが燃えている」との訴えあり。(その後服用3日目までの計3回の吸入直後に、同様の発言した。)自分のふとんだけが熱く燃えている、重いと言って、他の兄弟のふとんをはぎとり自分にかけて寝たとのこと。 服用4日目、解熱。		08/04/01以降 新規報告
58	B-08027291	男性	10歳	20 mg		幻聴	回復	体温38.3℃。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。昼、本剤吸入。夕食前より、恐いなど言い出した。本剤2回目吸入。夜間、就寝時、幻聴が聞こえ恐いと言うなど精神症状あり。幻聴が強くなった。 服用2日目、朝、異常なし。幻聴はなく、インフルエンザの症状も軽くなったとのこと。		08/04/01以降 新規報告
59	B-08027376	男性	10歳	20 mg	クラリスロマイシン テオフィリン アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱のため受診し、ザナミビル水和物、クラリスロマイシン、テオフィリン、アセトアミノフェン処方。同日、服用開始。 服用2日目、朝、夕、本剤吸入。夜間、寝ていたが、急に手でバタバタと床をたたき出し、呼びかけても目線はあわず、フラフラと歩く行動が発現。救急要請。事象発現約8分後、救急車到着時には、意識清明。病院へ搬送後、インフルエンザA型と診断され、経過観察目的で入院。 服用3日目、朝、本剤吸入。昼過ぎ、意識清明であり、退院。		08/04/01以降 新規報告
60	B-08027957	男性	10歳	20 mg	非ピリン系感冒剤(4) ツロブテロール アズレンスルホン酸ナトリウム	幻覚 異常行動	軽快 軽快	咽頭痛、鼻水、咳あり、受診。体温36.9度。その後、熱発、頭痛あり再受診。体温38.4度。インフルエンザA型陽性と診断され、ザナミビル水和物処方。同日朝、本剤初回吸入後、就寝。同日昼過ぎ、突然起き出し、幻覚(何かが見える、おびえる)といった症状が発現。数分で軽快。同日夕方、本剤吸入2回目、体温36℃台。本剤吸入約5時間半後、深夜、突然起き上がり、目の焦点が合わないといった症状が発現。5分程度で軽快。 服用2日目、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
61	B-08027958	男性	10歳	20 mg	塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン ヒベンズ酸チベピジン	浮動性めまい 血圧低下 ジスキネジー 意識変容状態 蒼白 チアノーゼ	回復 未回復 記載なし 記載なし 記載なし 記載なし	インフルエンザA型の診断にて、ザナミビル水和物処方。 同日、本剤吸入時にめまい、ふらつき、体をビクビクさせる動きが発現。もうろうとした状態、顔面蒼白、口唇チアノーゼ認めるも、その後回復。約2時間後、再度ふらつき、めまいが発現し、救急搬送され、緊急入院。頭CTでは明らかな異常なし。 3日間入院し、改善みられ退院。		08/04/01以降 新規報告
62	B-08029314	男性	10歳	20 mg	アセトアミノフェン	譫妄 振戦	不明 不明	ザナミビル水和物服用2日目、朝、本剤吸入後、体温39℃で、うわごと、ふるえが発現。		08/04/01以降 新規報告
63	B-08031642	女性	10歳	20 mg	鎮咳配合剤(1) 塩酸アンブロキシオール	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用1日目、夜、本剤吸入約2時間後、「熱い」「足がかゆい」と言って起きてくる。30分おきに約5時間症状が継続。 服用2日目、朝、本剤吸入したが、昼間は日常と変わらず。夕、本剤吸入。体温37℃。夜、昨夜と同様の行動を3、4回繰り返す。 服用3日目、朝、医師の指示により、本剤中止。夜、異常なし。		08/04/01以降 新規報告